

公開・非公開の別

公開 部分公開

非公開

## 令和7年度第3回浜松市博物館協議会 会議録

### 第1 開催日時

令和8年3月10日（火）午後1時から午後2時30分まで

### 第2 開催場所

浜松市博物館 2階会議室

### 第3 出席状況

（出席委員）

現地参加：笹原恵、田中裕二、西田かほる、廣瀬憲雄、山本久美子  
渡部いづみ

Web参加：なし

（欠席委員）二本松康宏、村松健史

（事務局）

鈴木一有博物館長、中村和隆博物館長補佐、鈴木京太郎学芸G長  
村松輝和運営G長、鳥居恒平

### 第4 傍聴者

なし

### 第5 議題、内容及び結果

- (1) 最近の博物館事業について
- (2) 令和8年度以降の博物館の中短期目標及び事業評価指標の設定等について
- (3) 令和8年度博物館事業予定等について
- (4) 史跡蜷塚遺跡の再整備事業について
- (5) その他

意見、質問の詳細は「第8 発言内容」のとおり。

## 第6 会議資料の名称

- 1 資料 1-1 浜松市博物館運営についての考え方（案）
- 2 資料 1-2 令和 8 年度以降の博物館の中短期目標及び事業評価指標
- 3 資料 1-3 令和 6 年度浜松市博物館事業評価
- 4 資料 2 令和 8 年度事業計画予定
- 5 資料 3-1 史跡蜷塚遺跡の再整備事業について
- 6 資料 3-2 全体平面図
- 7 資料 3-3 設置予定のサイン

## 第7 発言内容記録方法

文字 / 録画 / 録音

## 第8 発言内容

### 1 開会

博物館長補佐 （開会）

博物館長補佐 本日の会議だが、事務局で会議録を作成するため、録音させていただく。

博物館長補佐 浜松市博物館条例第 21 条第 1 項の規定によれば、本会議の議長は会長だが、議事に入るまでの間、私が司会を務める。

博物館長補佐 定足数の確認を行う。  
全委員 8 人中、6 人が出席であり、浜松市博物館条例第 21 条第 2 項で規定する定足数に達しているため、本会議は成立する。  
なお、本日は浜松市博物館アドバイザーの富田和俊様に関係者として出席していただいている。

### 2 挨拶

博物館長 （挨拶）

### 3 議事

博物館長補佐           ここからは、笹原会長に議事進行をお願いする。

笹原会長               議事の進行を務めるので、皆様のご協力をお願いしたい。

まず、会議録署名人の指名について、会長が指名した1名が署名を行うことになっている。

本日の会議録の署名は、山本委員をお願いする。

山本委員               (了承)

笹原会長               次に、会議の公開についてお諮りする。

「浜松市附属機関の会議の公開に関する要綱」第3条第1項により、当会議は原則的に公開である。

ただし、事業の適正な遂行に支障を及ぼすおそれがあるもの、市の機関及び国等の審議、検討又は協議に関する情報で公にすることにより、意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがあるものなどの

「非公開情報」を扱う場合は、その全部又は一部を非公開にすることができるとされている。

本日は、これに該当する部分のみ非公開にすることとするが、異議はないか。

委員                   (異議なし)

#### (1) 最近の博物館事業について

笹原会長               それでは、議事の1番目、最近の博物館事業について、事務局から説明をお願いする。

博物館長               (資料に基づき説明)

- 笹原会長 質問等はあるか。
- 笹原会長 「かりうち」とはどのようなゲームで、なぜ天竜高校が参加したのか。
- 博物館長 すごろくのようなもので韓国に似た遊びがある。奈良文化財研究所の職員が、現代では失われたゲームを究明して復元したものであり、学術的な裏付けがある。  
奈良文化財研究所が、本年度、全国の学校に講義指導を実施していた。地元の小中学校の参加も考えたが、授業の中で実施することのハードルが高かった。天竜高校のクラブ活動でボランティア部があり、顧問の先生が社会科の教材研究を熱心に行っていて、そのつながりがあって本イベントを開催した。来年度以降、探究の授業で取り上げたいとの申し出を受けている。
- 廣瀬委員 「かりうち」は今年度、キットを購入し文献を確認しながらゼミの中で実施した。大逆転が起きるので、非常に盛り上がった。
- 博物館長 復元の建物や文字資料を活かす良いきっかけとなった。博物館事業の一つとして取り上げたい。
- 笹原会長 官学連携事業のグッズデザインが優れている。どれくらい商品化する予定か。
- 博物館長補佐 浜松未来総合専門学校グラフィックデザイン科の2年生14名の学生に制作してもらった。缶バッジはすべて商品化する予定で、最優秀賞1点、優秀賞2点を選定したため、その中から仕様を踏ま

えて新年度以降に商品化したい。

博物館長                    デザインしたのは 20 歳の学生が中心。  
講座では 40 代～60 代の参加者が多いが、20 代から  
博物館の魅力について発信してもらった。

笹原会長                    他に質問等はあるか。

委員                        (特になし)

(2) 令和 8 年度以降の博物館の中短期目標及び事業評価指標の設定等について

学芸 G 長                    (資料に基づき説明)

笹原会長                    質問等はあるか。

廣瀬委員                    指標 2 のナンバー 3 「オンラインサービスの充実」  
について、「ある蔵」の不具合の改善で良いのか。  
新しいシステムを開発してもらいたい。

学芸 G 長                    「ある蔵」を「収蔵品検索システム」の改善とする  
ことについて、検討したい。

渡部委員                    事業評価の中で特に変わった部分は何か。

学芸 G 長                    令和 5 年度から令和 7 年度の実績がハイフンとなっ  
ている項目について、新たに設定した指標である。

渡部委員                    今までであったもので無くした項目はあるのか。

学芸 G 長                    「館内収蔵庫の点検・清掃回数」について、月 1 回  
実施することが定着しているので数値化は不要とし

た。また、「資料事故発生件数」は数量的評価にそぐわないため削除した。

渡部委員

事故は別のところで評価するということが。

学芸 G 長

指標 1 のナンバー 1 「資料の体系的な収集と安定的な保管」に含まれると考える。

笹原会長

判断基準として残してはどうか。

学芸 G 長

資料の事故について定性的評価基準を再考する。

田中委員

情報発信について書かれているが、公開に当たる部分が書かれていない。博物館の理念や規定、予算、収集方針等を公開し、それに対して理解を得ることが大切。公明正大に分かりやすく発信・公開を積極的にやってほしい。民具の廃棄基準について問題となっているが、第三者委員会で審議するなど、きちんと手続きを踏んでやるべき。市民の財産でもあるので、規定もなく廃棄する、クローズの会議で廃棄を決定することはあってはならないのではないか。

学芸 G 長

指標 3 の定性的評価の評価項目に「館の理念や運営・活動情報の積極的な公開」を追加したい。

博物館長

X (エックス) を 1 週間 1 回以上更新している。「研究なくして活用なし」の投稿は反響が大きかった。博物館の調査研究の考え方については、今年度、5 月議会において説明している。博物館の理念やそれに基づく事業への取組など、根幹となる部分について、しっかり示していきたい。

- 笹原会長 本協議会の議事録等を博物館のホームページからリンクをつなげるなど、見られるようにできないか。
- 運営 G 長 担当課と調整する。
- 笹原会長 資料の公開件数が指標に入っていたと思うが、新しい収蔵資料が入った情報や、その資料がどのように扱われているのかが見えるようになっている方が、見た人からも分かりやすいのではないか。
- 西田委員 「ある蔵」のデータが少ない。  
どんな資料を収蔵しているのかを公開してほしい。  
また、統一的な収集方針を示してほしい。
- 学芸 G 長 市内の歴史に関わりのあるものを収集する方針。
- 笹原会長 指標が5つから3つになり、どう変わったのか。指標の4「市民協働」がわかりにくくなったと思う。指標2「誰もが利用・活動しやすい場の提供」となっているが、提供というよりは、創造や充実、共に創るといった言葉の方が相応しいと思う。中間目標の「信頼」や「必要」は伝わりやすいが、「身近」という言葉が指標として疑問である。親しみがもてるかという方が指標として有効であり、後々使いやすいのではないか。
- 学芸 G 長 親しみという言葉に変えても問題ない。提供という言葉についても考え直したい。
- 山本委員 身近より親しみの方が良い。  
指標の表記については、子ども達にも分かりやすい言葉にした方が理解されるし、もっと利用される施

設につながると思う。

笹原会長 他に質問等はあるか。

委員 (特になし)

(3) 令和8年度博物館事業予定等について

(非公開)

(4) 史跡蜷塚遺跡の再整備事業について

(非公開)

(5) その他

笹原会長

博物館アドバイザーにご意見をいただきたい。

富田アドバイザー

情報公開は全国の博物館で課題とされている。公開する情報の管理が難しい。

浜松市博物館は SNS を活用しているが、これを活用して収蔵庫などの課題について発信しても良いかもしれない。顔が見えるような情報の公開・発信の仕方を考えていくべき。

博物館は収入を得ることだけがすべてではないため、ユニークベニューなどを活用して収入増を図りつつ、資料収集や保管、調査研究などの役割を果たす、今後はそのバランスが重要になる。

博物館長

自己資金の捻出が課題。

学校対応が非常に重要な役割だが、観覧料収入にはつながらない。

自己資金だけでなく公的資金の必要性が伝わるような情報発信が重要になる。

笹原会長

事務局から連絡事項等あるか。

事務局

(特になし)

4 閉会

会議録署名人 山本 久美子

(署名又は記名押印)